

## ◆ ご挨拶

向春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

JDCP Study では、日頃から、先生方をはじめスタッフの方々に大変お世話になっております。おかげさまで、全国からご登録いただいた大勢の患者さんの症例報告書のすべて、のべ 11,302 症例分のデータ再入力とクリーニングを、昨年末にようやく終了することができました。追跡率はまだ満足できるものではありませんが、先に光が見えてまいりました。これもご参加いただいている先生方のご協力の賜物でございます。心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

その結果、スタートライン 6,400 名、追跡 1 年目 4,959 名、追跡 2 年目 2,807 名の臨床データの集計ができました。この間、糖尿病合併症に関するイベントは腎症を中心に 409 件発生していることもわかりました。死亡者は残念ながら 20 名おられ、死因としては悪性腫瘍、心血管イベントの順でした。今年も、追跡率 90%以上の達成、食事療法、運動療法、歯周病に関するデータの解析、合併症発症・進展にかかわるリスク因子の解析等に、全力を挙げて取り組む所存です。残念ながら 361 名が脱落していることから、転医先でも追跡可能なシステムの構築を検討しております。

平成 21 年秋から新しい研究体制による JDCP Study がスタートしましたが、その後、事務局の移転、症例報告書（4 年目）発送の遅延などにより多大なご迷惑をおかけしたことを、あらためてお詫び申し上げます。本研究を支えてくださった皆様方のあたたかなお気持ち忘れずに、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会による共同研究である本研究を、わが国における質の高い大規模観察研究として長期的に継続させるために、今後とも微力を尽くすつもりでございます。

ひきつづき皆様の絶大なるご支援とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

JDCP study 研究代表者 田嶋尚子

## ◆ 4年目 症例報告書ご提出のお願い

---

症例報告書をお送りする時期が遅れており、ご準備いただいている先生方には大変ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。現在、研究班で検討の上「症例報告書（4年目）」の改訂版を作成しております。お時間をいただきまして誠に申し訳ございませんが、作成が出来次第、送付させていただきます。

ご多忙中、お手数をおかけいたしますが、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

データ収集期間については、期限を過ぎてしまっている場合でも、遡って該当期間のデータ収集が可能であれば、該当期間のデータをご記入の上、報告書のご提出をお願いいたします。同封のデータ収集期間は、あくまでもその期間内のデータが望ましいということですので、この期間外であってもご提出いただけるデータがありましたら、是非報告書にご記入の上、ご返送いただければ幸いです。

また、問診票の記載に関しては、過去の状態を振り返っていただくのも難しい点があるかと存じますので、可能な範囲での記入で結構です。

## ◆ 過去の症例報告書のご提出について

---

データ収集期間が過ぎてしまったため、1年目および2年目(追跡1年後)の症例報告書のご提出にお困りの場合があるかと存じます。症例報告書につきましては、あくまでも該当期間のデータをご記入いただくのが望ましいということですので、この期間外であってもご提出いただけるデータがありましたら、是非報告書にご記入の上、ご返送ください。

また、万が一遡ることが難しい場合には、該当期間に一番近いデータを1年目の報告書へ記入し、次に該当期間に近いデータを2年目(追跡1年後)の症例報告書へご記入の上、ご返送いただけると幸いです。

その場合、1年目の症例報告書と2年目(追跡1年後)の症例報告書に記入していただきたくデータは期間が短くても結構です。

ご多忙中、大変お手数をおかけいたしますが、引き続きご協力賜りますよう、衷心からお願い申し上げます。

## ◆ ご施設を訪問させて頂いて

日常診療のお忙しい中、皆様には報告書の記載など様々な点でご協力いただきましてありがとうございます。研究チームでは、少しでも皆様方のご負担を軽減できないかと考え、ご登録数の多いご施設を訪問させていただき、先生を始め、ご協力いただいておりますスタッフの方にお困りになっている事や、工夫されている事などについてヒアリングさせていただきました。貴重なお時間、ご意見をいただきましてありがとうございます。



2010年12月16日 青森県 木村健一クリニックにて



2011年1月6日 栃木県 高田クリニックにて

ヒアリングをさせていただいた結果について、いくつかご紹介させていただきます。

### ◆大変な事

- ・報告書に、施設登録番号や中央登録番号、施設情報など記載するのが大変  
⇒症例報告書（4年目）から施設登録番号や中央登録番号などは1冊1冊シールを貼って送付させていただきますが、書名のみご記入をお願い致します。

### ◆工夫されている事

- ・報告書記入に必要な検査を漏れなく実施するために、カルテに右記の様なシールを貼っている。  
研究チームでも2パターンシールを準備させていただきましたので、ご希望の方はデータセンターまでご連絡ください。
- ・施設登録番号、中央登録番号に該当する患者さんの氏名や生年月、次回受診予定などを一覧にて管理している。
- ・JDCCP の患者さんが来院された際の流れが決まっているため、カルテに大きく JDCCP と表記をすることによって、決まっている流れに沿ってスムーズに対応することができる。

<JDCCP> ・採血 ・ウエスト ・神経・歯門診 ・眼科紹介 ・神経チェック ・R-R ・ECG お願いします。	<JDCCP>		
		R	L
	足背A		
	振動感		
	ATR		
	痛感		
	お願いします。		

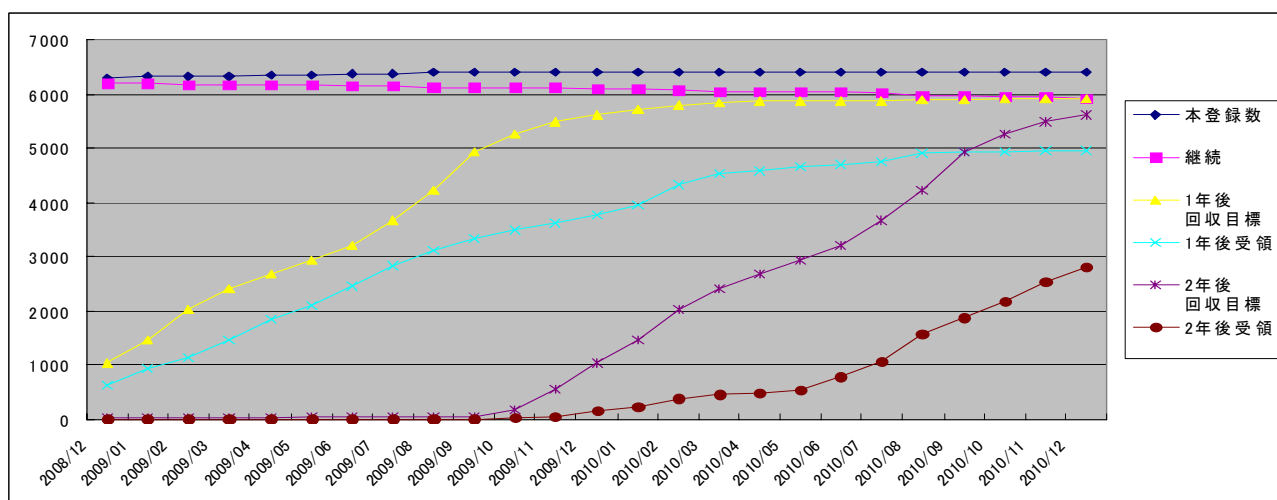
その他、ご意見やご要望などございましたら、データセンターまでご連絡ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## ◆ 全体の進捗状況について

2010年12月31日の時点における症例報告書回収の進捗状況をご報告申し上げます。追跡率の目標を90%以上に設定しておりますが、2年目（追跡1年後）は4,997症例（78.1%）、3年目（追跡2年後）は 2,807症例（43.9%）についてのご報告をいただいております。図に示すとおり、目標の黄色の線まで、あと一息のところまで到達いたしました。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今後、150症例の追跡ができれば追跡率80%以上となります。そのため一部のご施設に対しては、2年目（追跡1年後）の時点における情報のご報告をお願いしているところでございます。日常診療の合間に過去にさかのぼって症例報告書の記載をお願いすることを大変心苦しく存じますが、JDCP studyの基礎データ構築のためにどうぞよろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

そのために、事務局としてご協力できることはさせていただきますので、ご連絡いただきたく存じます。日常診療のお忙しい中大変恐縮ではございますが、皆様のより一層のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。



2010.12.31 現在 2年目回収数：4,997例 3年目回収数：2807例

※ 継続：本登録数から中止を除いた症例数

## ◆ ホームページについてのご案内

JDCP study ホームページ URL

[http://www.jds.or.jp/jdcp\\_study/](http://www.jds.or.jp/jdcp_study/)

ご不明な点がございましたら、下記 JDCP study データセンターまでお問い合わせください

TEL：0120-79-1024（平日 9:00～17:30） FAX：0120-03-1024